

## 角田山 (西蒲・巻町)

■環境：海岸  
 ■対象：一般  
 ■期間：4月上旬～  
 10月下旬

7つの登山コースが整備され、家族でハイキングが楽しめる。山頂からは日本海、新潟平野が一望できる。海岸線と隣り合わせにそびえる山は豊かな表情をもっている。

## 〈早春の陽光を浴びてさえずるホオジロ〉

平野部の残雪も消え、軽装でゆっくり早春の探鳥を楽しみたい方は、角田山の東側山ろく近くにある仁箇堤一帯の環境を考えたいかが。きらきら輝く水面にカイツブリ、カルガモ、コガモなど、ときにオシドリが出現するかもしれない。水際でセグロセキレイ、ハクセキレイなど、また堤周辺では朝日を受けてさえずるホオジロの姿や冬鳥のカシラダカ、ツグミのさえずり、そしてキジの雄叫び。この時期、野鳥の種類が案外多いところである。



角田山西側

## 〈野鳥たちの歌声に満ちる新緑の角田山〉

七つの主登山コースの中、五ヶ峠、稲島、湯の腰、五リン石、福井螢の里の各コースを選べばキビタキ、オオルリ、クロツグミ、ホトトギス、エゾムシクイなど夏鳥のさえずりに魅了されるだろう。

## 〈身近に見られるりょう線沿いの鳥たち〉

りょう線沿いの探鳥は特に五ヶ峠コースがよい。4月下旬、山桜のつばみをついばむウソの姿を身近に見ることもできる。ルリビタキが低木林のあちこちに出現。ジョウビタキの地鳴きに似ているので、姿の確認に好奇心を抱くかもしれない。このころコマドリのさえずりを耳にすることもある。またりょう線上空をすさまじい羽音で飛行するハリオアマツバメに出会えば幸運である。晩秋の11月ころはキクイタダキ、ヒガラ、イスカなども目にするだろう。

## 〈潮の香りとイソヒヨドリの美声〉

海岸側から山頂へは、浦浜、角田岬の二つの登山口が普通。浦浜コースは入り口から広葉樹林帯で、早春の林床



に咲くカタクリの群落を見ながらの探鳥は格別であるが、眼下に海が迫り、潮の香りを味わいつつの探鳥は角田岬からのコースと言えよう。高山の岩場の様相を示し、双眼鏡の使用は差し控え、自身の五感を通して、自然に接したい。5月下旬から6月上旬、海岸の岩肌からイソヒヨドリの、そしてヤブの中から渡り途中のエゾセンニュウのさえずりが流れてくる。ハマヒルガオのピンクの花、ハマボスの白花、メノマンネングサの黄色の小花、アサツキの紅紫色の花などが咲き誇っている。  
 (渡辺弘雄)

## メモ

**交通** 角田山：JR巻駅下車。駅より角田山の7コース登山口への周遊登山バスを利用するか、福井螢の里コースは、福井―浦浜線、灯台コースは角田―浦浜線、浦浜コースは両線の定期バスも利用できる。仁箇堤：巻町より、角田―浦浜線のバスで得雲荘前下車、徒歩7分。

\*周遊登山バスは運行期間が年によって異なる予想され、定期バスも本数が多くないので問い合わせが必要。問い合わせ先：新交西貸し切りバス(株) ☎0256-73-3981

☑ 角田山の7つの主登山口には駐車場あり。稲島、灯台、福井螢の里の各コースの登山口にはトイレがある。(浦浜コースは登山口近くの402号線にある) 帰りは、じよんのび館で温泉につかるか、仁箇堤から北方約1.5kmの上堰湯でサギ類、シギ・チドリ類、草原の鳥など観察できる。